



みなみっ子

11月の生活目標：「元 気 な あ い さ つ を し ょ う 」

NO. 39

四万十市立中村南小学校 (TEL:34-7400)

高知県教育委員会 道徳科研究指定校事業

13日(月)、高知県・四万十市教育委員会、西部教育事務所、そして主に西部地区の小・中学校の先生方をお迎えし、H28年度から取り組んできた道徳科の研究発表を行いました。

公開授業は2年1組・4年1組・6年の3クラスで行い、授業後それぞれの教室で講師を囲んで研究協議を行いました。その後、体育館に移動し全体会では道徳推進教師(渡辺教諭)から2年間の取り組みを発表しました。

講演は、演題を「考え・議論する道徳授業の展開と評価の在り方について」とし香川大学の植田教授に分かりやすく講話をいただきました。

参加者の中には、本校で勤務された先生方や知人の方からは「子どもが良く頑張っていた。素晴らしい授業でした。いろいろと勉強になりました。」との温かい言葉もいただきました。また高知県教育委員会、四万十市教育委員会、西部教育事務所の方々からの感想からも指定校としての役割は果たすことができたのではないかと思います。道徳教育については、小学校では来年より、中学校では再来年から「特別の教科 道徳」として教科化されますので他校の先生方も真剣に学ばれていたと思います。本校の発表は終わりましたがこれからも研究は続けていきたいと思っています。

昨日、高知県教育委員会からは、高知県教育委員会主催の「道徳教育パワーアップ研究協議会」の研修会で渡辺教諭に本校の道徳の実践を発表してほしいとの依頼がきました。本校の実践が高知県教育委員会にも評価されていることが自信となり、児童と全職員の頑張りにつながります。

研究発表の様子を、参加された先生のアンケート(感想)や写真でお知らせします。

【参加者の感想より】

◆道徳ノートの活用により、授業で学んだこと、これまでの自分とこれからについて普段から考えさせることが仕組みされていることがよく分かりました。子ども達が、書く力は勿論のこと、書くことで自分の思いを綴る、そして、そこでどのように考えているかをつかむことができるということ、とても参考になりました。

◆道徳ノートで子どもを見とり思いを知ることが評価に繋がると感じました。ワークシートで感じたこと、自分の生活の中におきかえるなど、児童理解にも繋がると思うので、ぜひ、まねをしてみたいと思いました。

◆児童の評価、教師の評価をもとに授業改善がされていたことが参考になりました。教師一人の感覚ではなく客観的な捉えが大事だと思いました。(あたり前のようで難しいことだと思います。)

◆長いページ数の資料こそ道徳科の趣旨を踏まえれば、深みのある授業をつくることのできる可能性やヒントを大いにいただきました。

◆自分の立場を明確にすることによって議論ができ、教師はそれを一面ではなく多面的に見とることが大切であるということが勉強になりました。

◆何のための評価であることを考えること、そのためにすべきことは、子ども達を日々見とること、また、組織的に評価の在り方を研究し、ベクトルを揃えておくことが大切であると思いました。



【授業・研究協議・全体会の様子】



2 年



4 - 2



6 年



宗崎指導主事



清水指導主事



植田教授



授業後の研究協議：左から 2・4・6 年



左：渡辺教諭のプレゼン・右：香川大学植田教授の講演

香川大学 植田和也教授:授業後の感想

植田教授は、6年生の授業の助言者でしたが、授業のスタート時2年、4年の授業も数分観ていただきました。

◆2年生の歌を聞いて、心から伝わってくる感動する歌声でした。

◆4年生は、子どもに気配りして上手に範読する教師の姿に感心しました。

◆6年生は、「真海のチャレンジ」の教材はとても長く時間配分が難しいにも関わらず、1分の余裕を残して終わったことが素晴らしいです。この教材で時間内に終わった授業は初めて観ました。発問を工夫し精選し絞ったことで、子どもが深く考えることができた授業であり、今後の参考になります。内容のレベルが高いです。

など、どれもとても素晴らしい授業だったと言ってくださいました。児童や職員をいっぱい褒めていただき本当に有り難く思いました。

植田和也教授から【11/15（水）にいただいたメール】

乾校長先生植田です。
大変 お世話になりました。
中村南で学ばせていただいたことを
いろいろと紹介させていただきます。
人材育成に関する校長先生のお考えや
取組み、大変勉強になりました。

感謝、感激、感動です。
本当に有難うございました。香川大 植田和也



高知大学 森有希准教授から【11/14（火）にいただいたメール】

中村南小学校の皆様
発表会、本当にお疲れ様でした。
13日には、皆様が研究の成果を存分に発揮されますようにと離れた場所からではありますが、願っておりました。きっと、先生方も、児童の皆さんも、言い得ぬ達成感を感じられたことでしょう。

これまで中村南小学校にお伺いさせていただく度に、先生方や児童の皆さんのひたむきな努力の姿を拝見させていただいておりましたが、お伺いさせていただく度に、そう感じましたから、それは、その時々ではなく、2年間ずっと、この研究や学習に真剣に取り組んでこられたものだと感じております。

2年間、様々な指導方法や知識を十分身に付けられたこともさることながら、一丸となって一つのことに真剣に取り組むということは、実は大変なことでもありますし、その真剣に臨む姿が、子供さんたちの前向きな力を育ててこられたんだと思っています。

このご経験は、きっと、先生方や児童の皆さんの大きな力になれるものと存じます。

思い起こせば、授業研の際に、子供さんたちの発言、それを引き出す先生の力に震えるほど感動させていただいた記憶がよみがえってきます。

素晴らしい学校ですね。

本当にお疲れ様でした。少しほっとされつつ、お身体も休めてくださいね。

森 有希

校長より：2人の大学の先生から、この様な心温まるメールをいただき感謝しています。